

米子工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	基礎英語会話 I
科目基礎情報					
科目番号	0016		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電気情報工学科		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材					
担当教員	青砥 正彦,片寄 メーガン				
到達目標					
1) 会話に必要な語彙をつけること。 2) 会話表現を用いて自己表現ができるようになること。 3) 言語や文化の違いを理解すること					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	会話に必要な語彙力が十分にある。	会話に必要な語彙力がある。	会話に必要な語彙力がない。		
評価項目2	会話表現を用いて自己表現ができる。	前もって準備すれば会話表現を用いて自己表現ができる。	会話表現を用いて自己表現ができない。		
評価項目3	言語や文化の違いを理解できる。	言語や文化の違いをおおむね理解できる。	言語や文化の違いを理解できない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 E					
教育方法等					
概要	社会とかかわるコミュニケーション能力を養成する。基礎的な会話の技術と能力を習得し、会話に必要な文章表現と語彙を身に着ける。				
授業の進め方・方法	できるだけ、自由に発言、会話ができるようになること。				
注意点					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	修学ガイダンス	授業の進め方を知る。	
		2週	カナダについて	カナダの文化について理解する	
		3週	あいさつ	あいさつについて理解する	
		4週	職業	職業について会話ができる	
		5週	職業	職業について会話ができる	
		6週	食べ物	食べ物について会話ができる	
		7週	食べ物	食べ物について会話ができる	
		8週	復習	前期の内容を理解する	
	2ndQ	9週	習慣	習慣について理解する	
		10週	習慣	習慣について会話ができる	
		11週	日々の活動	日々の活動について会話ができる	
		12週	日々の活動	日々の活動について会話ができる	
		13週	過去のこと	過去のことについて会話ができる	
		14週	過去のこと	過去のことについて会話ができる	
		15週	前期の復習	前期の内容を理解できる	
		16週	前期末テスト	前期の内容を理解できる	
後期	3rdQ	1週	服	服について会話ができる	
		2週	服	服について会話ができる	
		3週	人の説明	人の説明ができる	
		4週	人の説明	人の説明ができる	
		5週	町について	町について会話ができる	
		6週	町について	町について会話ができる	
		7週	復習	後期の内容について理解できる	
		8週	自分の町について	自分の町について会話ができる	
	4thQ	9週	自分の町について	自分の町について会話ができる	
		10週	旅行について	旅行について会話ができる	
		11週	旅行について	旅行について会話ができる	
		12週	乗り物	乗り物について会話ができる	
		13週	乗り物	乗り物について会話ができる	
		14週	復習	後期の内容を理解できる	
		15週	復習	後期の内容を理解できる	
		16週	学年末試験	これまでの内容を理解できる	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1	前2,前3,前4,前5,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1	前2,前3,前4,前5,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	前5,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前15,前16,後1,後5,後7,後8,後9,後12,後13,後14,後15,後16
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	前4,前5,前8,前9,前10,前13,前15,前16,後1,後2,後4,後5,後7,後8,後9,後12,後13,後14,後15,後16
		英語運用能力の基礎固め	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	前6,前8,前10,前11,前15,前16,後2,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後12,後13,後14,後15,後16	

				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	前5,前8,前11,前12,前15,前16,後5,後7,後8,後12,後13,後14,後15,後16
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	前9,前15,前16,後4,後5,後7,後8,後12,後13,後14,後15,後16
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	前3,前4,前8,前10,前12,前13,前15,前16,後1,後4,後5,後7,後8,後9,後12,後13,後14,後15,後16
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1	前3,前4,前8,前10,前15,前16,後1,後4,後5,後7,後8,後9,後12,後13,後14,後15,後16
			英語運用能力向上のための学習	実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	1	前3,前4,前5,前8,前10,前13,前15,前16,後1,後2,後4,後5,後7,後8,後9,後12,後13,後14,後15,後16
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	1	前1,前3,前4,前5,前6,前8,前11,前12,前13,前15,前16,後1,後2,後4,後5,後7,後8,後9,後12,後13,後14,後15,後16
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	1	前3,前4,前5,前8,前9,前15,前16,後1,後4,後5,後7,後8,後12,後13,後14,後15,後16
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	1	前1,前3,前4,前5,前8,前9,前13,前15,前16,後1,後2,後5,後7,後8,後9,後12,後13,後14,後15,後16
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	1	前1,前3,前4,前5,前8,前13,前15,前16,後1,後2,後4,後5,後7,後8,後9,後12,後13,後14,後15,後16

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---	---